

ここが聞きたい！
いっぱん

質問

木質バイオマスと奥出雲建築材の 有利生産の考えは

若月忠男 議員

町長 木質バイオマス産業化と
木材乾燥機早期導入検討中



問 奥出雲町最大の地域資源である森林資源を活用した、木質バイオマスエネルギー活用と奥出雲乾燥材の生産は必要不可欠であり、木材を柱・板等製品にしていく過程では、必ず「端材」が発生します。これを木質バイオマス原料として利活用することによって、一石二鳥の効果もあり、環境に優しい循環型社会の構築に大いに寄与するものであると考える。具体策についての農・商・工の連携とみなんで取り組む省エネのまちづくり策についての考えは。

答 木質バイオマスを活

かしたまちづくりにつきましては、本年2月号の広報で町民の皆様にもお知らせしましたが、奥出雲町地域新エネルギービジョンを策定したところであります。

ビジョンでは、町内に多く保有する森林バイオマスを燃料化する活用策を第一に掲げ、産業振興と雇用創出を目的とした奥出雲町らしい森林資源を活用した計画としております。

現在、町内の製材系廃材は自社工場での熱源利用がされており、また建設廃材は県外への輸送で利用されている状況であります。今後、産業化を進めていくためには、製材系と建築廃材の町内における利用とあわせて、切り捨て間伐材と林地残材の搬出コストの低減を図る必要があります。さらに竹林などの未利用資源の有効活用を図ることも検討しなければなりません。

木質バイオマスを活用した取り組みを推進するためには、町民の皆様を始め町内事業者の方々の御理解と御協力が必要で

あります。町といたしましても、実施体制の整備や普及啓発活動を行いながら、事業化に向けて着実に取り組んでいく考えてあります。

具体的に取り組む第一歩として、公共施設へのチップボイラーやまきストーブの導入、木炭生産の推進などがありますが、雇用創出型の事業として成長させたいと考えておりますので、本定例議会に提案いたしております。

一般会計当初予算には、木質などのバイオマス資源を利活用したまちづくりを実現するための、バイオマスタウン構想策定に関する事業費も計上しております。森林組合を始め、関係する皆さんと十分調整を図りながら事業を進めてまいりたいと考えております。

次に、町内産木材の利活用についてであります。が、これまで町内における公営住宅の建築等に利用促進を図ってまいりましたが、良質な建築材として供給するためには、用途に合わせた乾燥調整が必要でございます。木

質バイオマスの活用と連携し、木材乾燥機についても早期導入に向けて現在検討中です。

問 奥出雲材の利用促進の為に、各種の助成等についての考えは。

答 皆様方のいろいろな議論の中で実現可能なもの、あるいは効果が高いと思われるものがあれば、取り組んでいきたいと思っております。町内の皆さんのアイデアを出して、くださる中で取り組んでいきたいと思っています。また、いろんな業界の方が参画していただき、いろいろな議論ができるような仕掛けをさらに充実させたいと考えています。



▶ 奥出雲材を活用した
亀高小学校体育館